

参加団体

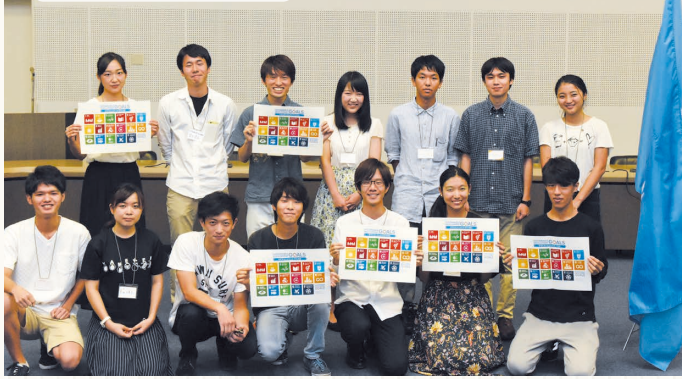
- RCE 横浜若者連盟
- 東京海洋大学うみがめ研究会
- 一橋大学国立あかるくらぶ
- NPO法人 千葉大学環境ISO学生委員会

- 明治学院大学エコキャンパスミーティング
- ボルネオ島スタディーツアー
- 全国大学生環境活動コンテスト

当日の研修内容

研修には7団体14人の学生が参加し、概要研修や基調講演を経てSDGsへの学びを深めた後に、大学生同士による自身の活動とSDGsとの関連性についての意見交換を行いました。活発な意見交換の後で、当日の研修を踏まえた団体ごとのSDGs宣言を作成してもらいました。

当日研修に参加した大学生



RCE横浜若者連盟

樋口智大さん(横浜国立大学 3年生) 飯田康平さん(東京都市大学 2年生)

ESDを推進する拠点の1つである横浜RCEにおいて、大学生が主体となって活動している団体です。横浜を拠点として学生と他セクター(企業、行政、大学、NPO・NGO等)と関わるからこそできる活動を行っています。

SDGs宣言

ESDを推進することが団体の理念の一つなので、今後も質の高い教育を地域内で実践することを常に意識したいと思います。

これからの社会を担う大学生という立場で行政や企業などの他セクターと連携し、持続可能性という視点をふくめつつ「楽しみながら」活動をすすめたいと思います。



東京海洋大学うみがめ研究会

角田久美子さん(東京海洋大学 3年生) 笠井崇弘さん(東京海洋大学 4年生)

ウミガメ類の調査・研究を主体としている団体です。ウミガメ類に関する教育、普及活動や、離島の研究施設での調査・保全活動および、それらの研究・活動の結果の発表を行っています。

SDGs宣言

これからは「海」を多くの人にとって一般的なものにしていきたいと思います。水産物や海洋生物が現在危機的な状況にあることや、いなくなった場合の人間への影響など、まだ「海」のことについて多くの人に知られていないことがあります。ウミガメを通じた海や海洋生物の現状、海洋資源の持続的な利用について、広く啓発を行いたいと思います。



一橋大学国立あかるくらぶ

熊野壮真さん(一橋大学 4年生) 日野仁泰さん(一橋大学 1年生)

国立市をもっと明るくしたい、一橋生がもっと地域に貢献できる場を作りたいという思いから設立された団体です。自作アプリを用いて散乱ごみの分布を把握し、ポイ捨てごみをなくすための提案や、調査及びイベントを開催するなどの活動を行っています。

SDGs宣言

ベンチャー企業との連携やごみ拾い活動へのアプリの導入など、これまでにない新しい技術や手法を地域に取り入れたいと考えて、「住み続けられるまちづくり」というゴールを最短距離で実現したいと思います。また、次の世代を担う地域の子ども達に対しても地域コミュニティの大切さを教えることが重要であることに、今日の研修を通じて気づきました。



NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会

林田裕紀さん(千葉大学 2年生) 菱田朋佳さん(千葉大学 2年生)

学内における環境マネジメントシステムの構築・運用を学生主体で実施している委員会です。大学の環境報告書の作成や環境に関するイベント・セミナーの開催など、学内外で環境に関する幅広い活動を行っています。

SDGs宣言

これまでは環境活動の目的や目標、その活動がどのような成果に繋がるかというビジョンをあまり意識せずに活動に取り組んでいました。今後は一つ一つの活動の成果や、それがどのような大きな目的へと繋がるかといった、つながりを意識して活動を行いたいと思いました。



明治学院大学エコキャンパスミーティング

高田萌未さん(明治学院大学 2年生) 真野恵輔さん(明治学院大学 1年生)

「ecoでつながる」、「楽しくエコ活」をモットーに、学内や地域の身近な環境問題に取り組んでいる団体です。廃油キャンドルによるキャンドルナイト、リ・リパックの回収やうちわの作成・配布など、「楽しい環境活動」を実践しています。

SDGs宣言

学内の学生とのエコ活動を主にしているので、参加者自身に学生一人一人が持続可能な開発の担い手であることを自覚してもらいたいと思います。今年度から学内で配布するうちわを作成しはじめました。学内の学生のうちわを使ってもらうことで、エネルギー消費について考えるきっかけを提供したいと思います。



ボルネオ島スタディーツアー

樋山輝さん(明治大学 2年) 荻野匠さん(明治大学 2年)

山藤先生のボルネオ島スタディーツアーに参加しました。ツアー後は現地の様子の写真を写真展に展示や、ホームステイの様子を記録したフォトブックの製作など、ボルネオ島の住民の生活の現状や近代化に伴う変化を、客観的に伝える活動を行っています。

SDGs宣言

ボルネオ島のパーム油の持続可能な利用のためには森の豊かさを守ることと現地住民の経済発展との両立が必要不可欠です。本日の研修を経て、ボルネオ島に住む現地の人達の生活を守ること、日本に住む私達の生活と物理的、精神的にどのような関連性があるかを、より多くの人達に普及させることが大切であると思いました。



全国大学生環境活動コンテスト

川原拓也さん(慶應義塾大学 1年生) 須齋あずささん(慶應義塾大学 4年生)

大学生による環境活動の活性化を目的に全国の学生環境活動団体の環境活動の発表大会を行っています。他にも学生の環境活動のニーズ調査など、学生団体の環境活動の全体の価値の向上を目指しています。

SDGs宣言

環境活動を実践している学生団体は全国に数多くありますが、取組の内容も団体によって様々ですが、行っている活動がSDGsに結びついていることを自覚できていない団体も多いのではないかと思います。全国から集まったコンテスト参加団体の学生に対し、自分の活動がSDGsと結びついていることを認識してもらい、SDGsを牽引する若者を増やしたいと思います。

